

国語科 学習指導案

単元名「読んで感じたことをまとめ、作品の魅力を伝えよう」
 教材名「初雪のふる日」〔学指要領：知(1)オ、思C(1)オ、カ〕

令和5年〇〇月〇日(〇) 第5校時 〇年〇組教室
 玉村町立上陽小学校 〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(1)オ 	
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(1)オ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。(1)カ 	
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 	

2 評価規準

知識・技能	① 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。
思考・判断・表現	① 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ② 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。
主体的に学習に取り組む態度	① 進んで文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもち、学習の見通しをもって、作品の魅力をポップで伝えようとしている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全9時間：本時第7時） ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	・初発の感想を基に作品の印象を話し合い、単元の課題をつかむ。(ア) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 単元の課題 自分の感じた作品の魅力を、相手に分かりやすくポップで伝えよう。 </div>			①
2	・話の大筋をつかみ、各自が疑問に感じたことを伝え合う。(ア)		①	
3・4	・白うさぎの列に巻き込まれた場面と、もとの世界に戻った場面を比較しながら、「わたし」の描写に着目して読み、心情の変化を捉える。(あ)	①		
5・6	・各自が疑問に感じたことを解決し、伝えたい作品の魅力を決める。(あ)			
7	・自分の感じた作品の魅力を一番象徴する叙述とその理由を決める。(あ)(ア)		①	
8	・自分の感じた作品の魅力を伝えるポップを作成する。		②	
9	・ポップを読み合い、それぞれの感じ方の違いに着目して単元の振り返りをする。		②	①

*活用する学習支援ソフト等：(あ)児童用デジタル教科書

*活用するコンテンツ等：(ア)AI テキストマイニング

4 言語活動の価値

本単元では、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の感想や考えがもてるよう、作品の魅力をポップで伝えるという言語活動を設定した。ポップには「作品の魅力を端的に表した言葉」、「作品の魅力を一番象徴する叙述」、「その叙述を選んだ理由」を書くという条件を与えることで、作品の内容に基づき魅力を考えられるようになる。また、ポップという制限のある紙面に書くことは、これらの内容をコンパクトに表現するため、観点に基づいた交流を行うことができる。交流を通して様々な考えに触れることで、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。さらに、作成したポップを学校図書館に掲示することは、相手や目的に応じて表現する必要感を高めるとともに、幅広い読書活動を促すことになる。

II 本時の学習（7／9）

1 ねらい 自分の感じた作品の魅力を一番象徴する「言葉のカギ」を決めることを通して、本文の叙述と感じたことを結び付けることができるようにする。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕	主な発問	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p><めあて> 作品の魅力が一番伝わる「言葉のカギ」を決め、その理由を明らかにしよう。</p> <p>S：読み進めるとだんだん魅力が分かってきたな。どの「言葉のカギ」をポップに書けば伝わるかな。</p>		<p>○これまでの学習を生かして本時の活動を進められるように、初発の感想を集約したテキストマイニングや前時までに学習した内容を基に、作品の魅力を決めてきた流れを振り返るよう促す。</p> <p>○本時のめあてを明確につかめるように、「言葉のカギ」をいくつ選んだのか、なぜその「言葉のカギ」を選んだのか問いかける。</p>
<p>2 作品の魅力と、それを象徴すると思える叙述をグループで伝え合う。（15分） 【★思考の補助】</p> <p>S：はじめは怖い話だと思っていたけど、うさぎが春を見つけた場面で、「自分もうれしい気持ち」になれるところがみんなに伝えたい作品の魅力だな。</p> <p>S：白うさぎが自分と同じ白い毛を見つけた時の『よもぎの葉っぱの裏側だって。』の文は、春を見つけたうれしさが伝わると思うな。</p> <p>S：『うさぎの白は、春の色』の文も、うさぎが春を見付けるところにうれしい気持ちが表れていて、かわいと感じるけど、どっちがいいのかな。</p>		<p>○同じ魅力であっても選ぶ「言葉のカギ」やその理由がそれぞれ違うことに気付くことができるように、作品の魅力を同じように感じているグループを編成する。</p> <p>○これまでの学習を通して選んだ「言葉のカギ」を並べて、比較しながら伝えられるように、児童用デジタル教科書のマイ黒板に書き出した叙述を示しながら説明するよう助言する。</p> <p>○作品の魅力について根拠をもって伝えることができるように、「作品の魅力」と「言葉のカギ」、「選んだ理由」の3点を伝えるモデルを演示する。</p>
<p>3 伝えたい作品の魅力を一番象徴する叙述を決め、理由も明らかにする。（15分） 【★思考の補助】</p> <p>「なぜ、その「言葉のカギ」が、作品の魅力が一番伝わるのですか。」</p> <p>S：さっきAさんが言っていたように、『うさぎの白は、雪の白』という歌が、『うさぎの白は、春の色』という歌になることで、うさぎの気持ちが変わったことがよく分かるな。</p> <p>S：そういえば、この白うさぎが喜んでこの歌を歌った場面を読んだとき、怖い気持ちよりほっとした気持ちになったな。</p> <p>S：やっぱり、白うさぎのうれしさがよく分かる『うさぎの白は、春の色』の方が、「自分もうれしい気持ちになれる」魅力を一番伝えられそうだな。</p>		<p>○作品の魅力を一番象徴する「言葉のカギ」を決められるように、「自分の心が強く動いたか」という観点で前時までに読み取った「言葉のカギ」を比べよう促す。</p> <p>○ポップに表す「言葉のカギ」を決めた理由の説得力を高められるように、複数の叙述や登場人物の心情の変化にも着目するように助言する。</p> <p>◆評価項目（思①） ワークシートの記述内容から「自分の感じた作品の魅力を伝えるために、本文の叙述と感じたことを結び付けているか」を評価する。</p> <p>○次時でポップに表す意欲を高めることができるように、本文の叙述と感じたことを結び付けられたことを称賛する。</p>
<p>4 本時の学習内容の振り返りをする。（10分）</p> <p>S：はじめは迷っていたけど、作品の魅力を一番伝えられそうな「言葉のカギ」が決められたから、これをポップに書いて伝えたいな。</p> <p><振り返り> S：私が伝えたい作品のみ力は「自分もうれしい気持ちになること」です。女の子が連れ去られるところはこわかったけど、『うさぎの白は、春の色』と歌って自分の春に気付いた白うさぎがうれしい気持ちに変わったとき、私もうれしい気持ちになったからです。白うさぎの気持ちが変わるところを見付けながら読むと、作品の感じ方が変わっていくことがわかりました。次は、作品が読みたくなるポップを作ります。</p>		<p>○これまでに学んだことのまとめとしてポップに表すことができるように、次時に作成するポップに記入する内容をイメージして、振り返りを書くよう促す。</p>